

妖しの女性の物語

善兵衛とお浪は互いに惹かれていましたが、お浪の身分が低いため、善兵衛の父は二人の仲を裂き、由緒ある家の女性と結婚させることにしました。そして、善兵衛の婚礼の日にお浪は島から姿を消し、愛用していた櫛つだけが海金剛の磯の上に残されていたのです。

しばらくして、善兵衛は仲間と海金剛へ磯釣りに行き、その最中、岩に腰をかけ長い黒髪を長く女性を見つけました。よく見ると、この女性は何んとお浪だったのです。二人は怖くなり、一目散に逃げ帰り、このことを島の者達に話しました。しかし、聞いた者が見に行った時には、人影も何もなく、切立った島と波打ちしかなかったのです。

参考 串本町民話伝説集 串本町民話伝説委員会編 串本町公民館

妖

海金剛で見た黒髪の娘

あ

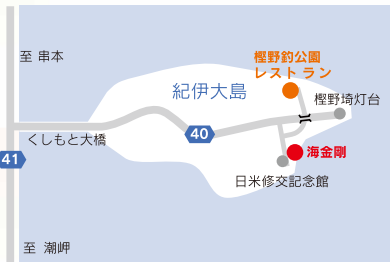
浪



●海金剛

朝鮮半島の金剛山に由来し、鋭く切り立った岩礁に荒波が砕け散る迫力満点の景勝地。周辺にはウハメガン等が生い茂り、神秘的な雰囲気がある。

■串本町檜野地先



寄り道ぐるめ

「伊勢海老一匹まるごと天井」

一匹まるごと伊勢海老を天ぷらにした丼と、灘沢に海老の半分で出汁をとった味噌汁がいった贅沢な一品。秋冬限定。

●檜野釣公園レストラン

■串本町檜野 1021-13 ☎0735-65-0002

妖しの女性の物語

北山の太沼にたいへん美しい娘がいました。里人たちはその美しさと優しさを讃えて、「久保の女郎」と親しみを込めて呼んでいました。ところがこの娘は、十七、八歳になってから毎晩家を抜け出すようになりました。心配した両親が後を追うと、対岸の船戸の池にたどり着きましたが、そこに娘はいません。母が「顔を見せてくれ。」と言うと、池に棲む大蛇とともにどろろに巻かれた娘が両親の前に出てきました。大蛇と夫婦になったことを両親に伝えると、娘はこの池に沈んで消えてしまいました。

参考 奥熊野・北山村の民俗誌一〇〇の話で語る村の今昔 北山村

大蛇と恋に落ちた娘

久保の少女郎



この辺りに船戸の池があります。

●船戸の池

蛇の池とも言われ、北山村対岸の森の中に池があったのだが、今は枯れている。

■三重県熊野市育生町



寄り道ぐるめ

花粉症にも効果があると言われているんだって！酸っぱいけど、おいしいよ〜



「じゃばら」

全国唯一の飛び地の村である北山村に一本だけ自生していた柑橘類。「邪を払う」というのが名前の由来で正月の縁起物。じゃばらドリンク等さまざまな加工品がある。

●ヤマサキショップじゃばら屋

■北山村下尾井 476 道の駅おくるとろ内 ☎0735-49-2575

「おくるとろ温泉レストラン」

地元的女性達が作った惣菜バイキングが食べられる。また、石造りの露天風呂からは渓谷美に包まれる北山村の自然が一望できる。

■北山村下尾井 476 道の駅おくるとろ内 ☎0735-49-2575